

- 1 : 総合戦略策定にあたっての基本方針
- 2 : ビジョンマップ (新島・式根島)
- 3 : 分野別提言 (産官学金労言など)
- 4 : 事業計画 (従来型の総合計画：行政提案の草案など)

まず、1の基本方針を議論した上で2のビジョンマップを作成することで、PDCAサイクルや『好循環』の戦略性の検証を行っている。

提案された事業計画のうち、2のビジョンマップ記載後に4の事業計画に落とし込まれるもの、3の分野別提言に記載後に4の事業計画に落とし込まれるもの、4の事業計画に直接記載されるものなど、いくつかのパターンで多段的に意見集約している。

また3の分野別提言においても、相互連携が確認されたものは特に強調して表現した。

地方創生とはなにか？ ⇒風の人と土の人の関係が生み出す、都会に無い役割

地方創生の具体的アイデアを議論すると同時に、『地方』に関する定義・解釈が必要だと思われるため、議論することで以下のような3種類の定義が生まれた。

1. 関東地方、関西地方などの地理的な地方。各地方に優劣はない。
2. 地方分権⇔中央集権など中央に対しての地方。この場合、中央に人・金・権限が集中しており、地方が僻地であることがわかる。
3. 都会でないもの、田舎、その地域独自の特色・風土のあるもの。

地方創生においては、2の定義における『中央>地方の構図』を払拭し、3のようにそれぞれの地域の役割や特徴をもって、『対等』な関係を中央/都会と築いていきたいと考えた。その際に『風土』という言葉から連想される、外から来る『風の人』と地元の『土の人』のような、人間の対等な関係性から、地方創生を考えたい。

内容2：島ごとの創生ビジョンマップ

2-1：新島のビジョンマップと地方創生の方向性

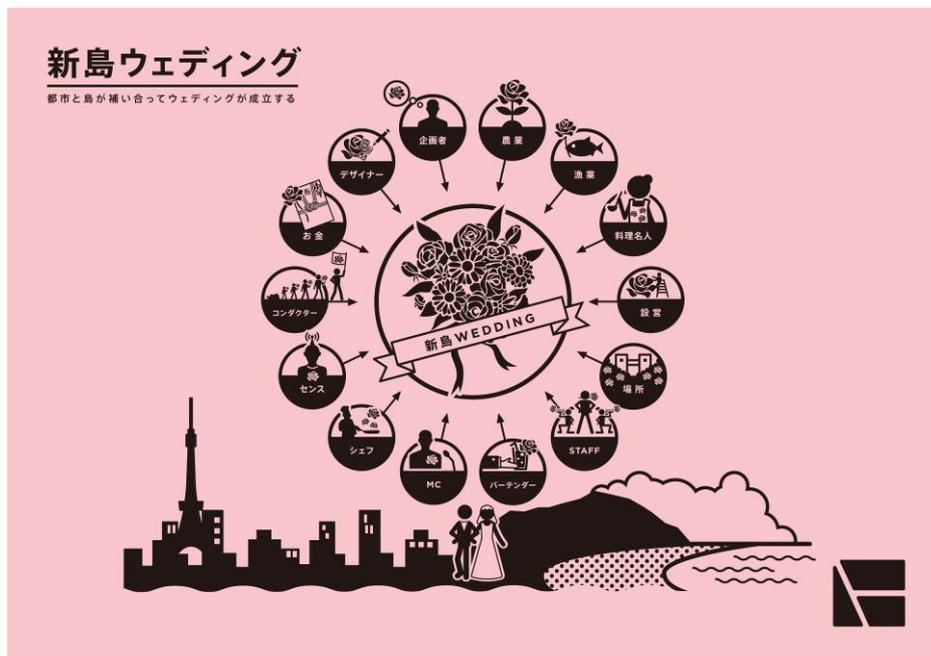
新島は流人の島であり、流人が文化・学問・生産技術に寄与した功績は大きい。流人が元祖『風の人』であり、それとともに育まれた新島の歴史や気質にこそ、**風の人と土の人が交わる地方創生の原点**があるのではないかと考えた。

江戸時代には当時の体制には合わなかった優秀な人材が流人として島に来てくれたが、これからは新島を好きになり島の振興の役に立つ人たちに期待し協力を依頼してもらっても良い。同時に島内の人材育成についても長期的に計画するべきである。

そのように考えた際に、新島村の既存事業や集落のあり方（地縁型コミュニティが健全に残る若郷集落に対し、都会的な価値観と行動も取り入れている本村集落もある）が、新島的であると考えた。そこで既存の事業の見直しを行った。

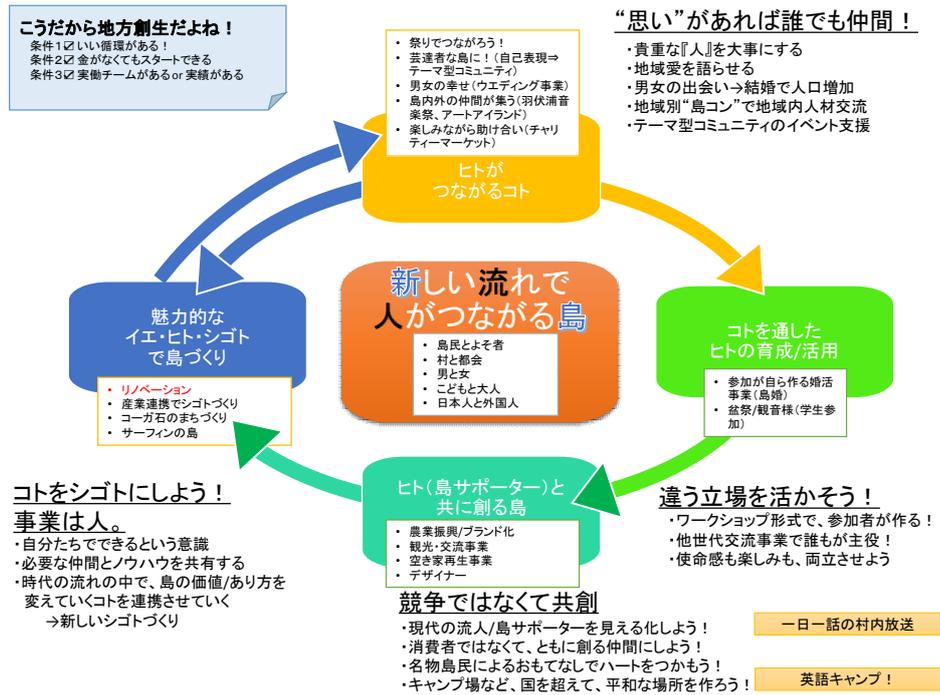
たとえば下図のように都会の人と交わりながら、島の人と共に作るウェディング事業が、実行委員会形式で8回開催されている。これは結果として地方創生につながるだけでなく、まさに都会と島がむすばれることが地方創生の象徴と理解できた。

- ・ 都会と島から持ち込まれるものが合わさって、実現可能になっている。
- ・ 全体として都会と島が補い合っている構図になっている。
- ・ お金は持ち込まれるものの一部で、お金で完結しない関係性になっている。
- ・ お金がなくても結婚式があげられ、日本全国どの地域でも実施可能である。
- ・ 地域資源をふんだんに活用し、PR効果も集客効果も高くなっている。
- ・ 結婚⇒出産⇒人口増加と、新島だけでなく日本社会にも良い循環を生み出せる。



(新島未来会議提供。2014年度過疎地域等自立再生対策事業にて作成)

新島ビジョンマップ『新しい流れで人がつながる島』



ヒトを軸に、コトをシゴトにまで発展させていく、新島独自の構想を描くことができた。その中には、以下のような地方創生の要素が見て取れる

出会って結ばれる島～島婚から新島ウエディングまで～

新島村商工会を中心に婚活事業を実施しているが、ここでは参加者に対して『結婚できないという問題』でとらえるのではなく、『婚活事業と自分自身がどのようなになったら自分らしく異性と交流できるか』と、参加者とスタッフがともに考えて作り上げる活動を行っている。そのため、イベント内だけのカップリング成立だけでなく、カップルに成らなくても交流から始まる交際や、恋愛体質になっていくなど、個人も地域社会に対して『体質改善』として接していく活動ができてきている。

多様な人の出番のある島

流人文化から始まる多様な芸能・自己実現の機運が、島民祭り等での演目数の増加などにつながっている。これによってテーマ型コミュニティが数多く作られ、その横つながりから、地域に多様なセーフティネットが生まれ、チャリティバザーなどの地域活動・福祉活動との良好な相乗効果も見取れる。

また、島外の島サポーターとともにつくる島としては、新島のキャンプ場は、無料でありながら島民も利用者が自主的に管理している側面があり、国籍を問わず非常に開放的な雰囲気である。島内外の人の自主性によって、安全で友好的な機運を作り、そこで異文化交流ができれば、教育や観光振興の視点でも相乗効果が生まれる。

2-2：式根島ビジョンマップ『ヒトで創る島 循環計画』

式根島のビジョンマップ作成にあたって、策定委員会の正式な会合が式根島地区では開催されていないため、有志委員を軸に、自主的な意見交換会やワークショップを実施した。

以下のように当計画：Pの前段階として、『以前の地域計画の確認：C』と『その改善：A』を含むことを意識した。新島村は新島と式根島を有する一村二島体制であるが、とくに式根島は人口550人前後と少なく、『式根島支所』が運営する行政体制である。保育園・小学校・中学校はあるが、高校は新島まで通わざるを得ない。また、観光事業者を中心とし、その受け皿としての商業が主となった独自の経済構造である。加えて来年に開島130周年を迎えるが、まさに自然と住民の共生によって成り立つ島である。

よって行政の管轄だけではなく、観光協会・商工会・住民活動など、既存の活動が一体となって計画に反映されることが望ましく、計画ありきではなく、住民参加型の計画策定とすることで、この過程そのものを地方創生としたい。

C：過去の事業や計画の確認

- ・観光まちづくり事業などから参考に
- ・情報と価値観を共有する。

A：修正

- ・計画にあたっての注意点を皆で出す。
- ・キーワードやシーズなど抽出しアクションプランに引き上げる

P：今回の地方創生

- ・ボトムアップ型の計画として、式根島独自の計画をつくる。
- ・良い循環を見える化して、フィードバックする

D：行動

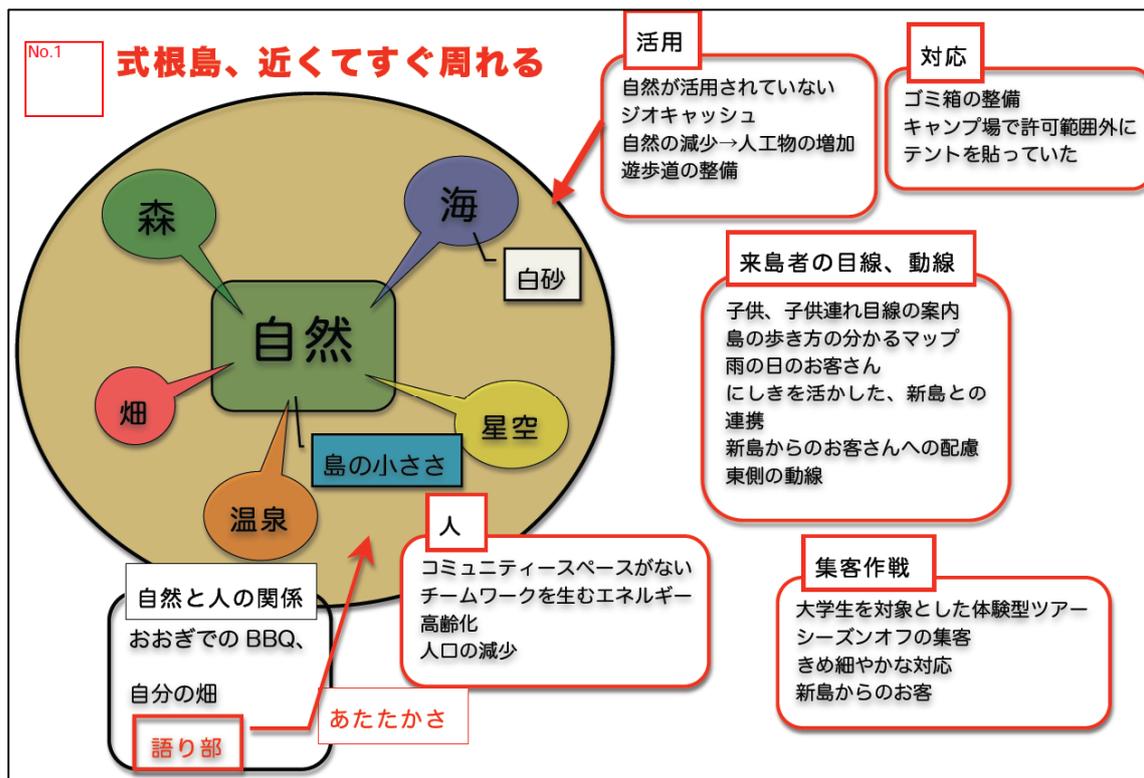
- ・小さくてもコツコツと活動してきた/できる提案を。
- ・今回の計画過程そのものが、地方創生の成果になるように

Step1：情報と価値観の共有

そこで、以下の事業の成果を精査した。

- 新島村商工会：シナジースキーム事業報告書
- 式根島観光協会：『観光まちづくりアドバイザー事業』
2011年度（住民主体の会議）、2014年度（外国人・学生による意見徴収）
- 式根島観光協会：『暦づくり事業』
- 新島村商工会：『商業便利度調査事業』

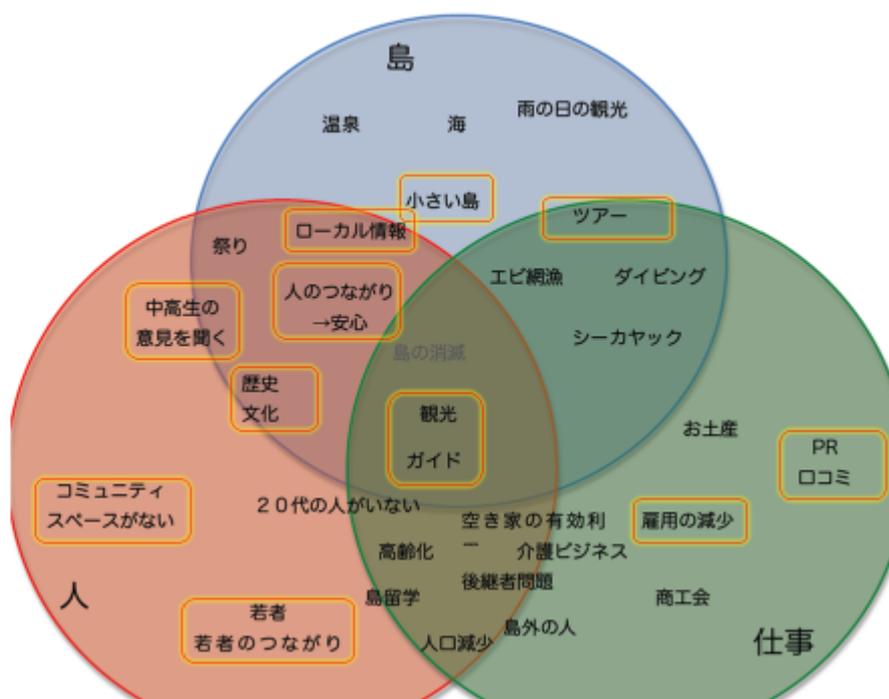
- 1、シナジースキーム事業では、宿泊事業者のアンケート調査を軸にし、式根島の来島客の大半が観光客であることを明かした。そのうえで商業振興計画において、式根島の限られた人口規模より、一人何役も兼務することが多いために、商工会や観光協会と組織をまたいで事業の相乗効果を高めていく方針が検討された。
- 2、観光まちづくりアドバイザー事業の5回にわたるワークショップにおいて、以下の知見が得られていたため、それをベースに、具体的なアクションプランの整理や、良い循環を生み出せるかどうかの検討を行った。



(式根島観光協会提供。2011年度観光まちづくりアドバイザー事業にて作成)

Step2 : キーワード/シーズの抽出

地方創生では『まち』『ひと』『しごと』創生が叫ばれているが、2012年のワークショップ時点にて『10年後の島を考える。島・人・仕事の3つの円にキーワードを落とし込む』を行っていた。以下に、今回の地方創生計画で主に引き上げたキーワードを囲って強調したベン図を示す。特に島・人・仕事創生すべてに共通するのが『観光ガイド』であったが、これを観光だけでなく、教育から積み上げていくような地方創生独自の計画になっている。



(式根島観光協会提供。2011年度観光まちづくりアドバイザー事業にて作成)

このキーワードから立体的な創生計画に組み上げていくが、その際に会議では、以下の大きく4つの懸念が出されたので、これをチェックポイントとして、最終的にこのすべてに答えていくように計画をブラッシュアップした。

- ・ C 1 : 実施可能性 (一つずつでもコツコツと)
- ・ C 2 : 持続可能性 (経済循環)
- ・ C 3 : 良い循環
- ・ C 4 : 地域母体であること (Uターンを促すにも“心”が重要)

現実的に一個ずつでも!

毎回毎回、同じような集まりがあっても、その場で終わることがおおいから... 予算がなかったら

収入がちょっとでも増えるようなことをやったら? 続くこと

ある中で時間をかけて回るように!
島の人間からやっていく! まず一歩。

いい循環の中にある

自分でやってみる、リスクをしょって、お金を借りて... できることを一個ずつ

相乗効果を考える

来てくれる人も増えて、住む人も増えて、店も増えて

何もないところから始めるのはつらいので、自分がやって、バックアップに回りたい!

一個だけではダメでは?
合意しながら作っていきける場が欲しいな

根幹の地域活性ができていない状態で、なにか仕掛けても対応できないのでは!
鳥の内部事情をしっかりと!

方針の提案

こういうのやりたい! 活動の入口ってどこよ?